

MacOS 対応

アップデート

取扱説明書

# スコアメーカー2.1

アップデートについて...

## アップデート概要

スコアメーカー2.0 (Ver2.0) を、Ver2.10へアップデートします。

## アップデート内容と動作環境

処理速度の改善	スコアメーカーの起動や認識の処理を見直し、より高速化をはかりました。また、その他の処理についても高速化を行っています。
注釈テキストに対応	作詞作曲者名などの記入のために注釈テキストを自由に楽譜上に配置することが可能となります。 P.4
「楽譜データへの変換」を添付	ユーザーからの要望が高かったスタンダードMIDIファイルから楽譜データへの変換が行えるようになります。これにより他の音楽ソフトとの双方向のデータ互換性を確保しました。 P.6
操作性の改善	記号パレットの最小化の機能、記号パレットの拡張ボタンの操作性、伴奏コード譜のスタイル/パターン名のカナ表記、などの改善を行いました。 P.11

OS : 漢字 TALK7.5 以上

CPU : PowerPC 搭載機

メモリ : 16MB 以上 ( 32MB 以上を推奨 ) 32MB 未満は仮想メモリが必要

### 【お問い合わせ先】

(株) 河合楽器製作所

コンピュータミュージック事業開発室

〒430-8665 静岡県浜松市寺島町200

TEL 053(457)1350 FAX 053(457)1355

e-mail cmusic@po.kawai.co.jp

パソコン通信「ニフティサーブ」にてユーザーサポートを行っています。GO FMIDIVAのカワイ会議室へ、どうぞお気軽にご利用ください。

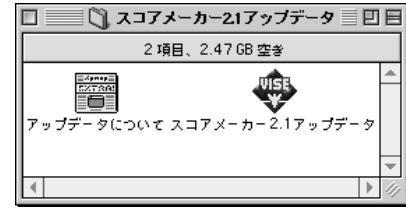
また、インターネットホームページにて最新情報をお届けしております。

<http://www.kawai.co.jp/>

## アップデート方法

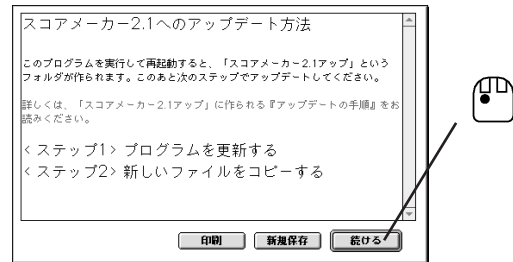
**STEP1** アップデータをダウンロードします。ダウンロードする場所はどこでも構いません。ダウンロードが終了すると自動的に解凍が行われ、「スコアメーカー2.1アップデート」という名前のフォルダが作成されます。

自動的に解凍されない場合は、ダウンロードしたファイル (Sc21UpMac.sit) を StuffIt Expander のアイコンにドラッグ & ドロップして解凍します。StuffIt Expander はインターネットや雑誌の付録の CD-ROM から入手できます。



**STEP2** 「アップデートについて」をお読みの上、「スコアメーカー2.1アップデート」を実行します。

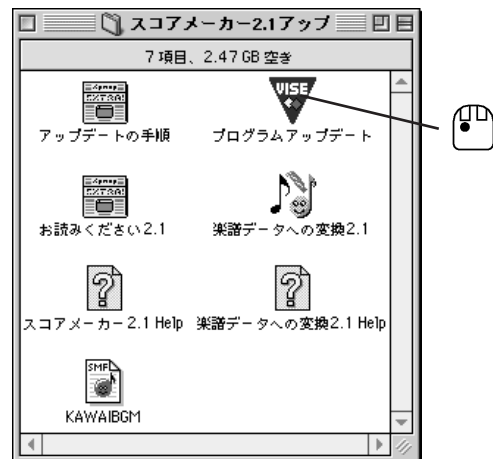
[ 続ける ] をクリックします。



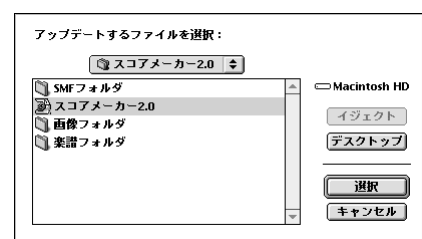
**STEP3** [ インストール ] をクリックすると、「スコアメーカー2.1アップ」フォルダを作成します。



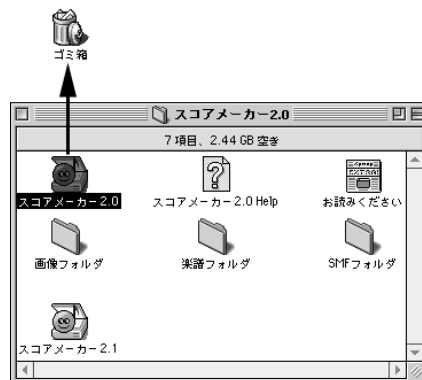
**STEP4** 「スコアメーカー2.1アップ」フォルダ内の「プログラムアップデート」をダブルクリックします。



**STEP5** アップデートプログラムが起動しますので、古いスコアメーカープログラム(「スコアメーカー2.0」)を選択し、アップデートプログラムの指示に従って、新しいスコアメーカープログラム(「スコアメーカー2.1」)を同一フォルダに保存します。

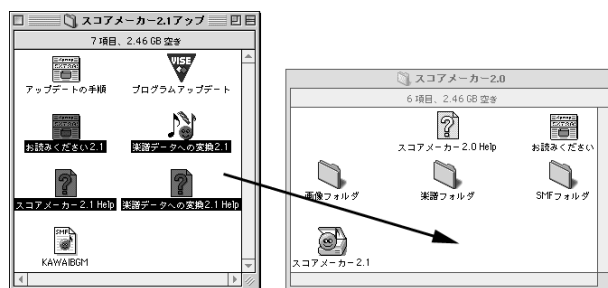


**STEP6** 古いスコアメーカープログラム(「スコアメーカー 2.0」)を削除します。(古いスコアメーカープログラムは正常に実行することはできません。)



**STEP7** 「スコアメーカー 2.1 アップ」フォルダから、アップデートされた「スコアメーカー 2.1」が存在するフォルダへ以下のファイルをコピーします。

お読みください 2.1  
 スコアメーカー 2.1 Help  
 楽譜データへの変換 2.1  
 楽譜データへの変換 2.1 Help




**STEP8** 「スコアメーカー 2.1 アップ」フォルダの「SMF サンプル」フォルダの「KAWAIBGM」は、「楽譜データへの変換 2.1」で使用する SMF サンプルです。このファイルを、「SMF フォルダ」に移動してお使いください。  
 (「スコアメーカー 2.1 アップ」フォルダは不要ですので、削除しても大丈夫です。)

## アップデート内容解説

### 注釈テキストに対応

演奏に反映しない文字を貼り付けることができます。

STEP1 [ツール]メニューの[注釈]をクリックして、注釈テキストモードに切り替えます。

STEP2 記号パレットが消え、カーソルが鉛筆カーソル  になります。

### 色の指定

STEP1 [注釈]メニューの[色]をクリックすると、「色の設定」ダイアログが表示されます。

STEP2 色を選択して、「OK」ボタンをクリックします。



### フォントの設定

STEP1 [注釈]メニューの[フォント]をクリックすると、「フォントの設定」ダイアログが表示されます。

STEP2 [フォント名][スタイル][サイズ][文字飾り]を選択して、「OK」ボタンをクリックします。



### 文字の入力

STEP1 編集している楽譜上の任意の個所をクリックすると、入力矩形が表示され文字を入力することができます。入力矩形の枠外をクリックすると入力確定します。

STEP2 カーソルが鉛筆カーソルでなくなっている場合は、ツールバーの選択されているカーソルのアイコンをクリックして選択状態を解除すると、鉛筆カーソルが表示され、文字が入力できるようになります。

### 色・フォントの変更

STEP1 既に入力してある文字を選択カーソルでクリックすると、その文字が選択された状態になります。

- STEP2 [注釈]メニューの[色]もしくは[フォント]をクリックし、色やフォントを変更します。

## 文字の編集

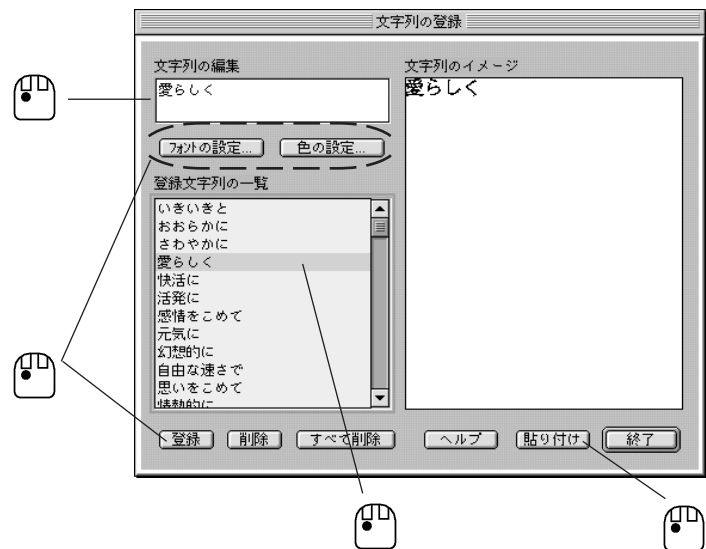
- STEP1 選択カーソルで、入力してある文字をダブルクリックすると、入力矩形が表示され文字の編集ができます。

## 文字列の登録

- STEP1 [注釈]メニューの[文字列の登録]をクリックすると、「文字列の登録」ダイアログが表示されます。

登録文字列の一覧は、使用頻度順に並びかえられます。

よく使う標語やコードネーム（C、Am、F7など）を登録しておくくと便利です。



- STEP2 文字列を入力し、フォント・色を設定して「登録」ボタンをクリックして登録します。楽譜に貼り付けるときは、登録文字列の一覧より選択し、「貼り付け」ボタンをクリックします。

- STEP3 選択カーソルで貼り付けた文字列を任意の位置までドラッグします。

## 注釈テキストモードの終了

- STEP1 文字の入力が終わったら、[ツール]メニューの[注釈]をクリックして、注釈テキストモードから抜けます。

## 「楽譜データへの変換」を添付

### 楽譜データへの変換について

---

市販されているSMF曲集や、他の音楽ソフトで作られたファイルを、スコアメーカー2.1で使われている楽譜ファイル(SDF形式)に変換するソフトです。

変換できるファイルフォーマットは、SMF(Standard MIDI File)です。

### SMF について

---

SMFは音楽データの世界的な標準フォーマットです。ほとんどのMIDI音楽ソフトはこの形式に対応しています。

SMFにはフォーマット0、1、2がありますが、**楽譜データへの変換**では、フォーマット2のSMFは変換することができません。

### 起動

「スコアメーカー2.1」フォルダの「楽譜データへの変換2.1」アイコンをダブルクリックします。



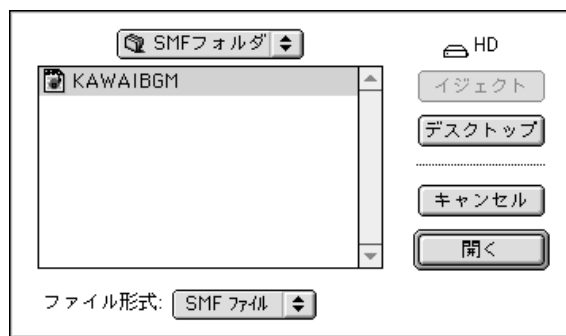
楽譜データへの変換2.1

## 操作方法

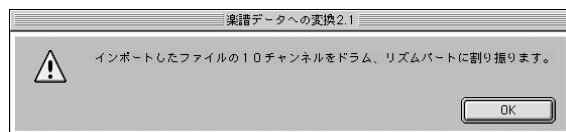
- STEP1 起動すると図のような画面になります。  
[ファイル]メニューから[インポート]を選択します。



- STEP2 SDF形式に変換したいSMFファイルを選択し[開く]ボタンをクリックします。



- STEP3 [OK] ボタンをクリックします。



- STEP4 [OK] ボタンをクリックすると、変換を始めます。



STEP5 変換が終わると [ プレビュー画面 ] が表示されます。  
必要に応じて、[ 閉じる ] [ 拡大 / 縮小 ] します。



STEP6 [ プレビュー画面 ] を閉じて、メイン画面に移ります。



STEP7 メイン画面では、譜表を指定したり、パートの移動、曲全体の設定を行うことができます。

STEP8 さまざまな設定を変更した場合は、[ 再変換 ] ボタンをクリックして再変換します。

STEP9 楽譜データへ変換ができれば、SDF形式で保存します。



## 曲全体の設定

### 曲名

曲名を付けます。デフォルト（初期状態）では、SMFのシーケンス名が表示されています。

### 調号

調号を付けます。  
調号を変更するには、まず[調号を設定する]をチェックします。

### 拍子

拍子を付けます。



### クオンタイズ（最も短い音符）

人が鍵盤を演奏したデータは、必ずしも音符通りのジャストのタイミングではありません。

その人間的なズレを補正し、一番近い音符のタイミングに合わせることを**クオンタイズ**といいます。

クオンタイズをできるだけ細かい音符にすると、元のSMFのデータに忠実な楽譜にすることができますが、必ずしも見やすい楽譜になるとはかぎりません。元のデータの音符の細かさに合わせて、最適な値を選んでください。

### 3 連符のクオンタイズをする

クオンタイズで設定された音符に対して、3連符を設定します。

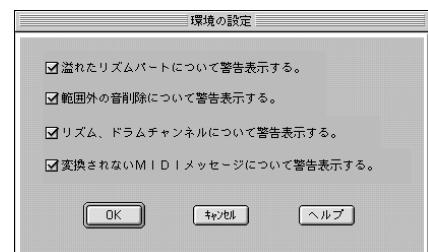
### 弱起

弱起の曲の最初の小節の長さを指定します。

## 環境の設定

**STEP1** [設定]メニューの[環境の設定]をクリックすると、「環境の設定」ダイアログが表示されます。

**STEP2** 各々の場面での警告表示を設定します。

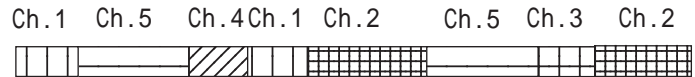


## 注意事項

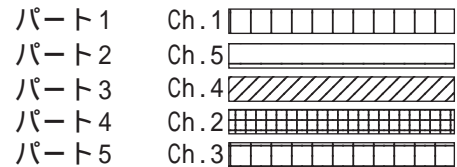
### フォーマット0/1の違い

フォーマット0のSMFとフォーマット1のSMFを変換した場合、変換結果が異なることがあります。

#### フォーマット0



SMFの先頭から新たなチャンネルのデータが来た順にパートと認識します。



#### フォーマット1

トラックの順番にパートと認識します。

### 中央のC(ド)の上下に音符がある場合

中央のCの上下に音符があるようなトラック(パート)は自動的に大譜表として変換されます。

中央Cより上(下)だけに音符があるトラックは、単独譜表に変換されます。

ほとんどの音符が中央Cより上だが、一部中央Cより下に音符があるようなデータでは、このパートを高音部譜表にして再度変換するとよいでしょう。



### Windowsや他のシーケンサのSMFを変換する場合

Windowsや他のシーケンサなどで保存したSMFも変換できますが、Macで使えるディスクフォーマット(1.44MB)でなければ読めません。

## 操作性の改善

### ・記号パレットの最小化の機能

楽譜の編集時、記号パレットが邪魔な場合は記号パレットを最小化することができます。

自動整列ボタン (Ver2.0では拡張ボタンにありました)

**STEP1** [設定]メニューの[環境の設定]で、[環境の設定]ダイアログの[記号パレットの拡張]をクリックし、チェックを付けます。

**STEP2** 記号パレットを最小化  したときに、**タブを常に表示**がオンのときは、タブを表示した最小化をします。オフのときはタブが表示されない最小化をします。

オフ

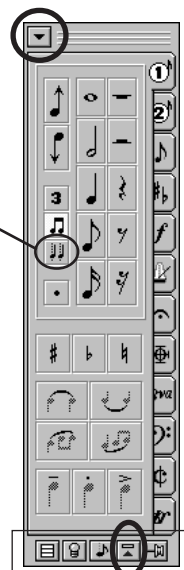
オン



オフのときの  
最小化



オンのときの  
最小化



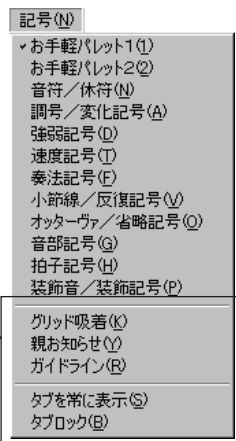
記号パレットの拡張ボタン

タブを常に表示ボタン

### ・記号パレットの拡張ボタンの操作性

[設定]メニューの[環境の設定]で、[環境の設定]ダイアログの[記号パレットの拡張]をクリックして操作していた記号パレットの拡張機能を、[記号]メニューから使えるようになりました。

記号パレットの拡張機能



### ・伴奏コード譜表のスタイル/パターン名のカナ表記

[設定]メニューの[環境の設定]で、[環境の設定]ダイアログの[日本語音色名]をチェックしておく、スタイル/パターン名が日本語表記になります。

## ・レイアウトの自由度の向上

[表示]メニューの[レイアウト]画面で、楽譜のレイアウトの仕様が一部変更されました。

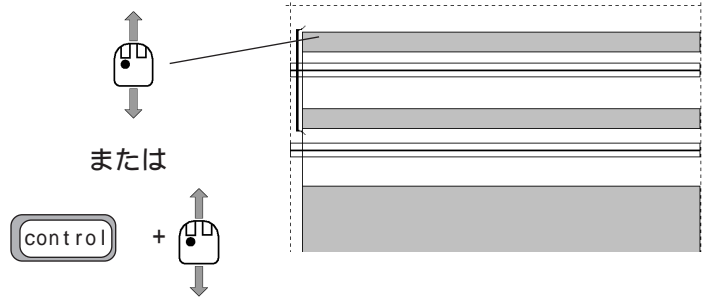
### 段落の間隔の調整

ページごとに段落の間隔を調整するには、[control]+ドラッグします。

ページの一番上の段落をドラッグすると、そのページの段落すべてが移動します。

2ページ目以降のパート1をドラッグすると、1ページ目を除く全てのページのパート1が移動します。

ドラッグしたページと段落数が異なるページは無視されます。



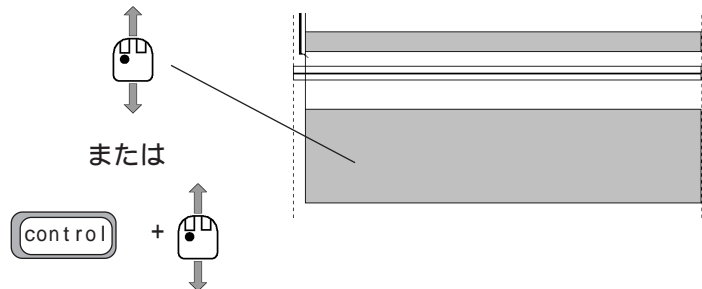
### パートの間隔の調整

段落ごとにパートの間隔を調整するには、[control]+ドラッグします。

下のパートからドラッグすると調整しやすくなります。

2ページ目以降のパートの矩形をドラッグすると、1ページ目を除く全てのページのパートが移動します。

ドラッグしたページと段落数が異なるページは無視されます。



### 歌詞の位置の調整

歌詞の矩形をドラッグして移動します。

歌詞の矩形は、すべての段落に連動します。どの段落でドラッグしても構いません。

[control]+ドラッグすると、その段落のみ移動します。

